



えーる油山ニュース

2020年9月発行 第49号



Illustrated by. T.M

多機能型障がい福祉サービス事業所 えーる油山
(管理者 佐々木篤・発行者 竹下真子)
福岡市城南区東油山1丁目6-39
TEL 092-834-8900 / FAX 092-834-8910
E-mail: e-ru@sage.ocn.ne.jp
<https://www.facebook.com/ashinoie/>

施設長トーク 2020年 8月に想う事!

毎年8月は広島市・長崎市への原爆投下の日から終戦記念日まで続く数日は、戦争関連のニュースが多くなる。広島県人である自分にとっては8月は特別な月である。終戦記念日に執り行われた全国戦没者追悼式の中継のなかで、戦争経験者が全人口の2割になってきている現状が話されていた。戦争の悲惨さが語り継がれなくなる恐れがある。戦争を身をもって知る人が減っていくのは、とりもなおさず日本という国が長きにわたって戦争の災厄とは無縁だったことを意味するからだ。8月15日は敗戦記念日ではなく日本不戦期間75年到達記念日でもある。

2016年5月27日、オバマ大統領が広島平和公園を訪れて、全世界に向けて平和と向き合うメッセージを発信した。対戦国であった現職のアメリカ大統領が広島を訪問したのである。オバマ大統領のけじめと信念が垣間見れた。戦争を体験した母が手を合わせてテレビを覗いていたのを思い出す。

大学を卒業して入職した支援施設、そこに当時60歳代のMさんがおられた。そのMさんが描かれた絵が思い出される。空から焼夷弾が降っていて、下にはヘルメットをかぶった人が描かれていた。Mさんは絵を持って、しきりに説明してくれた。

戦争の惨禍の中を必死に生き抜いてきた障がいをもった人たちが、たくさんいたこともまぎれもない事実である。

多機能型障がい福祉サービス事業所 えーる油山 管理者 佐々木篤

With コロナ

感染症は事業所にとって最も怖いリスクの一つです。障がいのある仲間たちの健康管理は、予防・治療共に難しさがあります。例えば検査や治療で注射針を使う時、その必要性が理解できず「怖い」印象を強く持ってしまう。また常時見守りや介助を必要とするため、隔離やソーシャルディスタンスをとることもできません。コロナ下の生活環境変化も行動の見通しがつかず、生活リズムにも影響を多く受けることでしょう。感染者が出て閉所ともなると、私たちの支援もできなくなり、非感染者、その家族も含めて日常生活が大きく崩れてしまいます。

一刻も早い終息を願いながらも、現在の支援や新しい支援の在り方について考えないといけません。

サービス管理責任者 中司隼人

～仲間ちゃんねる～

最近はダイエットをされていて、昼休みには職員と一緒にエアロビクスを行っているTさん。お盆休みにはご自宅で「野菜をたくさんとって健康的に過ごしました。」とのこと☆目標はスリムになって職員をびっくりさせたい～!とやる気に満ち溢れています(*^_^*)

授産品販売をしています☆

バザー出店を自粛している為、なかなかフェルト商品が販売出来ていない状況が続いています…。在庫はた～くさんありますので是非お問い合わせください♪

(支援員 竹下)

QRコードから
アクセスできます



9月の予定



※ハローデイ・ボンラパス各店舗でのバザーは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施を見合わせる事となりました。次回の実施については、決まり次第お知らせしたいと思います。

